

青戸地区震災復興まちづくり訓練

第2回のアンケートにて頂いたご意見と葛飾区の考え方

頂いたご意見に対する区の考え方を以下にお示します。

貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後の取組の参考にさせていただきます。

(1) 講義「葛飾区の被害想定と地域協働復興を知る」の内容について

ご意見	葛飾区の考え方
被災判定が、いまいちわかりづらい。現実の内容が想定しづらい部分もある。	被災判定の説明が不足しており申し訳ございませんでした。各種の判定方法については別途スライドでご紹介します。

(2) グループワーク＜被災後の『住まい』の復興を考えよう＞の内容について

ご意見	葛飾区の考え方
1. 設定について - 前提条件がわかりづらいと思います。 - もう少し最初の設定をきちとした方が、進めやすかったのではないかな。	ご用意した被災者の前提条件については、情報が多すぎると複雑になってしまうこともあり、前回の様な形で実施させていただきました。 内容にわかりづらい部分があるというご意見も踏まえまして、今後の訓練では説明の仕方や前提条件など、改めて検討してまいります。
2. 時間配分について - 時間が足りなかった。 - 資料でわかる部分は簡単にして、グループワークの時間にあてた方がよかったのではないかな。 - グループワークが楽しかった。もっと長い時間があると良かった。 - 時間が限られていますが、すすめ方が少し早い様に思いました。	時間配分でグループワークの時間が短く、説明も一部駆け足になってしまい申し訳ございませんでした。 限られた時間の中ではありますが、今後は講義部分の説明にもメリハリをつけ、グループワークに十分な時間が取れるよう工夫してまいります。

その他、意見、感想（訓練のすすめ方、進行スタッフへのコメント等）

ご意見	葛飾区の考え方
・コミュニティの大切さを改めて実感しました。もっと若い人たちにも参加してもらえると良いと思います。 ・別の地域でも同様の会をやって頂き、参加人数をどんどんふやしていけたら良いと思います。	訓練の開催にあたっては、対象地域の全戸にチラシを配布して周知を行っておりますが、より若い世代の方も参加しやすいよう、オンラインでの開催や講義の動画配信など、実施方法について検討してまいります。 本訓練は連合長会単位で実施しており、昨年度までに 11 地区で実施しております。まだ未実施の地区もございますが、今後も継続して取り組んでまいります。
・避難所のキャパ。福祉避難所がどんな所か、どこにあるのか、職員さんが知らない事が不安でした。	福祉避難所についての説明が不足しており、また職員間でも情報共有が図れておらず申し訳ございませんでした。 福祉避難所は、小・中学校などの第一順位避難所での生活が困難な要配慮者の方を受け入れる避難所です。 青戸地区の福祉避難所は別途スライドで紹介します。

いただいたご感想など

- ・ 実際に、自分が住んでいる地区の被害想定をくわしく見ることで良かったです。
- ・ 住んでいる町の被害予測を知ることで、対応のとり方が変わってくる。
- ・ 具体例に基づいて被災後の住まいをどうするかについて話し合うことで、イメージ作りがしやすかったと思います。
- ・ 現実を考えると大変であることが分かった。
- ・ 仮想の被災者の設定がしっかりしていたので実際の対応を現実的に考えられました。
- ・ 皆さんと真剣にお話出来、自分に置き替えて考えた事が良かった。
- ・ 年令別にいろんな震災に対する考え方が有る事が少しわかりました。
- ・ 具体的なシミュレーションで実感がわき現実的に考える様になった。
- ・ 日頃から考えることが大事だと思った。

たくさんのご意見・ご感想ありがとうございました。